

小泉寺 ①

小泉寺には、馬頭観音の他にも大切にされている仏様があります。五ヶ寺と呼ばれる特別な仏閣が諏訪にはあり、高島藩政時代には僧侶が参勤交代のように江戸へ出向き、將軍から御朱印を頂くという特別な関係にありました。

また、江戸文政期には諏訪八十八ヶ所の霊場が諏訪に成立し、小泉寺の「光明閣」には、そのすべての本尊が安置されています。本尊は大日如来で巡礼の始めと終りに必ず参拝する総願寺とされています。

小泉寺のある辺りでは、昭和の初め頃まで牛馬が田起こしなどで活躍しており、馬入れと呼ばれる細い道が家と家の間にあったそうです。諏訪湖まで繋がる水路もあって、舟戸などの呼び名が残っています。

います。

諏訪湖で御神渡りが毎年のようにあった頃、凍り豆腐が盛んに作られるようになります。特に中金子の生産は多く、県内でも有数の産地となりました。後に高野山(真言密教の聖地)へ行った人が、精進料理として出されていた、滑らかな凍り豆腐・高野豆腐に出会い、その製法が取り入れられました。「ダイヤ豆腐」という名前をご存知の方も多いと思います。安くて栄養価が高い健康食として今も人気があります。

八十八の仏さまが宿るとされるお米。諏訪の稲作地帯では、古来より子どもたちが豊作を願って「稲虫祭り」を伝えています。小泉寺ではその際に、虫除けのお札を下します。 〓 随時掲載



諏訪の八十八ヶ所霊場本尊が安置されている小泉寺の光明閣



詳しい場所などの問い合わせは 諏訪塾事務局 (電話070・8323・2107) へ。

ぶらり諏訪塾の冊子は

諏訪市観光案内所

(JR上諏訪駅内)

れすとらん割烹いずみ屋

(諏訪市諏訪)

書店「言事堂」

(諏訪市末広)

すわ大昔情報センター

(諏訪市博物館内)

諏訪書店 (通販のみ)

57・0997)

柏屋カフェ&ギャラリー

(諏訪市中洲神宮寺)

で販売中です。

今回の筆者



矢崎裕子さん

大昔調査会、狼煙文化調査会 会員